

じぶん鑑賞の すすめ

色々な見方を体験して
自分だけの発見をしてみよう

もし家に飾るなら、この作品がいいな。理由は...

この作品の様子を言葉で表現すると、
人物が3人いて、2人は立っていて、
1人は座っている。背景は...

この作品は、いさみと野村がこころを
なかにこめこんで描いた。場面は...

これらは、自分自身の経験や感覚を使ってアート作品をみる方法=じぶん鑑賞の例です。
この他にも色々な見方があります。また、答えは1つだけではありません。
コレクション展 2020-3 の作品を鑑賞しながら、作品に関する問いに答えることを通して、
色々なアートの見方を体験してみませんか？
体験後には、解説書には載っていない自分なりの見方にたどり着いたり、
アートがもっと楽しく、より身近に感じられるかもしれません。

2020年10月31日(土)

1 11:00-12:00

2 14:00-15:00

青森県立美術館

当館では、展示解説（ギャラリートーク）による鑑賞だけではなく、自分自身の経験や感覚を使ってアート作品をみる方法＝「じぶん鑑賞」をお勧めしています。この方法の良いところは、専門の知識がなくても、大人から子どもまで誰でも鑑賞を楽しめるところにあります。アートに興味はあるけれど見方がわからないという方、もっと自分の鑑賞方法を広げたい方、親子で美術館を楽しみたい方など、ぜひお気軽にご参加ください。

プログラム

鑑賞ワークショップ

当館スタッフからワークショップの進め方について簡単な説明を聞いたあと、参加者それぞれがコレクション展の作品を鑑賞しながら、作品に関する問い（4問程度）を解いていきましょう。作品に関する知識は必要ありません。問いを解くことで、自然に色々な鑑賞方法を体験することができます。全問クリアした方には、記念品として当館オリジナル缶バッジをプレゼントいたします。

日時：2020年10月31日（土）【第1回】11:00-12:00頃、【第2回】14:00-15:00頃

※所要時間60分程度～。第1回、第2回とも内容は同じですので、ご希望の回にお申込みください。

会場：青森県立美術館 展示室（地下2階エレベーターホール 集合）

定員：各回10名程度 ※要事前申込（当日空きがある場合は当日参加可）

料金：無料（参加者はチケット不要でコレクション展を観覧できます）

申込：2020年10月1日（木）から電話にて受付開始、定員になり次第締切。

鑑賞支援ツール『鑑賞手帳』プレゼント！

ワークショップ参加者には、鑑賞を楽しむための方法を紹介したガイドブック機能と、展覧会の感想を記載できるノート機能を持った「鑑賞手帳」を配布します。アート鑑賞のお供として、ご活用ください。

※鑑賞手帳データは下記当館ホームページから、どなたでもダウンロードできます。

<http://www.aomori-museum.jp/ja/education/activities/pocketbook2019/>



申込・お問い合わせ

青森県立美術館 教育普及担当

038-0021 青森市安田字近野 185

Tel : 017-783-3000 Mail : bijutsukan@pref.aomori.lg.jp